＜参考資料②＞

出前講座に係る新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

沖縄県地域環境センター（管理運営：公益財団法人沖縄こどもの国）では、「新型コロナウイルス感染拡大防止予防ガイドライン」を策定し、ガイドラインに沿って環境啓発活動を実施いたします。環境啓発活動を担う職員及び講師が順守する基本的事項と、出前講座における対策は次のとおりです。

≪基本的事項≫

- 出前講座担当者（講師、スタッフ）の講座実施前の健康チェック（体温測定、体調確認）を行います。体調不良が確認された場合は、代替要員の確保に努め、場合によっては申込先に連絡し、日程調整を行います。
- 常時、マスクを着用します。
- 手指消毒を徹底し、必要に応じてゴム（ポリ）手袋を使用します。
- 演示道具などの消毒（物品準備時、使用後は速やかに）を行います。
- 他人と共有する物品は可能な限り少なくし、使用後は適宜消毒を行います。
- 出前講座当日に申込団体へ連絡を入れ、体調不良者や感染疑い者がいないか確認し、実施可否の確認を行います。
- ゴム（ポリ）手袋、使い捨て雨ガッパやポンチョ等の防護服を持参（感染疑い者が出た際の対応用）します。

≪講座の実施方法≫

- 密を避けるため１クラス単位で行います。
- 講師と参加者の距離を 2m以上離れて解説及び講話・コミュニケーションを行います。
- 参加者の座席は対面とならないよう配置を工夫し、グループ活動は原則行いません。
- 参加者のマスク着用については、熱中症対策を十分に行います。
- 道具や材料の使いまわしをせず、使用する場合には一人１セットを用意し、使用前後は消毒を行います。
- 講座中に体調不良者（感染疑い者）が出た場合は、速やかに中断し、申し込み団体の代表者に伝え、その後の実施をとりやめます。（後日改めて実施ができるよう日程調整をします）
- 感染疑い者が出た際の対応ができるよう、申込団体と調整を行います。
- 沖縄県地域環境センターの「新型コロナ感染症拡大予防ガイドラン」のすべての事項を申込団体に伝え、了解を得て講座を実施します。